

家庭総合

教 科	家 庭	単位数	2	学 科 ・ 学 年	総合ビジネス科 3 年生
使用教科書	「新家庭総合 パートナーシップでつくる絆」 (実教出版)			副教材等	「生活ハンドブック」(第一学習社)

◇ 学習の到達目標 ◇

- ① 自立した生活者として、食生活、住生活、子どもの発達と保育などに関する知識や技術を総合的に身に付け、現在そして未来の自分及び家族の生活の充実向上させる態度を育てます。
- ② 自分の家庭生活や地域の生活に深い関心を持ち、生活課題を積極的に解決し、家庭生活を改善する力と積極的な態度を育てます。

◇ 科目の特色 ◇

「家庭総合」は、家庭生活にかかわる知識や技術を断片的に習得するのではなく、実際の生活の場で生きて働く力となるよう総合的に習得します。実験・実習や調べ学習など、体験を通して学ぶ科目です。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	2 編 生活をつくる 1 章 食生活をつくる (生活文化の創造と伝承を含む)	・ 調理実習などの実験・実習を通して、食生活を快適に営むために必要な知識と技術を習得する。 【前期中間考査】
7 9	ホームプロジェクト (夏季休業)	・ ホームプロジェクトでは、各自の生活の中から課題を見だし、課題解決を目指して実践をする。 【前期期末考査】
10 12	3 章 住生活をつくる 1 編 人とかかわって生きる	・ 住空間の計画や調べ学習などの実習を通して、住生活を快適に営むために必要な知識と技術を習得する。
1 2	2 章 子どもとかかわる	・ 妊婦体験や保育実習などの体験的な学習を通して、保育や子どもの福祉について理解する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	家庭や地域の生活に関心を持ち、意欲的に課題を解決しようとしているか。知識と技術を進んで活用しようとしているか。
思考・判断	家庭や地域の生活を見直し、課題を見つけ、その解決を目指して学んだ知識を生かして思考を深め、より良い方法を工夫することができるか。
技能・表現	家庭や地域の生活に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けることができたか。また、その技術を応用発展させ、適切に活用できるか。
知識・理解	家族・家庭生活の意義、家庭生活の各場面における基礎的・基本的な知識を総合的に理解することができるか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① 授業で活用するプリント | ② 学習成果をまとめた実習ノートやレポート |
| ③ 製作物及び実習・実技の状況 | ④ ホームプロジェクトへの取り組み状況 |
| ⑤ 自己評価表 | ⑥ 定期考査 |

また 1 年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判定して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

高校生という時期は、独り立ちに向かう準備の時です。生活に必要な知識や技術、考え方などを学び、独り立ちに備えたいものです。一人ひとりが生活の主人公になる力を付けるために頑張りましょう。